

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

① 活動の特徴

津谷地区では、無形民俗文化財（市指定）の山田大名行列や打ち囃子など、地域住民の伝統文化の継承・保存活動が盛んであり、各種祭りの実施等において地域コミュニティーが機能してきている。しかし、地域社会が過疎化、高齢化が進み、継承断絶の危機が大きな課題になってきた。このことを受け、持続可能な地域社会を考え、若手継承者の育成に取り組む視点から下川内けんばやし保存会と協働で伝統芸能「御岳太鼓」伝承活動を実践してきた。

平成28年度は、生涯学習の基礎を培うための地域人材を生かした協働実践を継続しながら、生徒のコミュニケーション能力や表現力、地域に貢献しようとする態度を養わせるねらいで、第1学年で地域を知る探究学習、第2学年で地域の人々とかかわる実践活動、第3学年で地域社会に貢献する奉仕活動を行った。

② 活動の概要

第1学年では、「地域を知ろう」というテーマのもと、興味・関心に基づいた課題を設定し、班ごとに探究活動を行い、地域の歴史について理解を深めた。まとめの活動では、学習したことを新聞形式にまとめ、班毎に発表した。班ごとの学習内容を全体で共有することで、地域のことについての理解を深め、次年度に行う御岳太鼓の活動の意欲付けとなった。

第2・3学年では、下川内けんばやし保存会の方に指導していただきながら、御岳太鼓の演奏に取り組んだ。運動会や文化祭で演奏すること以外に、例年、津谷地区の夏祭り「まんぼうサンバ祭り」への出演依頼がある。今年度は、雨天のために参加できなかったが、保護者や地域の人の前で演奏し認められることが、地域社会に貢献する意識の高まりにつながっている。

③ 実践の成果

第1学年においては、地域の課題を取り上げ、実践を伴う課題解決学習に取り組むことで、地域のことをより深く知ることができた。学習活動の要所に地域人材を活用し、専門知識に触れることで、一層の興味・関心が高まり、探究活動の深まりと行動力の伸長につながった。

第2、3学年においては、地域の伝統芸能伝承に関わる課題を考えながら学習活動を進めることで、課題解決の力が高めることができた。学校行事での演奏発表ばかりでなく、地域のイベントへの出演依頼もあり、生徒は意欲的に練習に取り組むことができた。残念ながら雨天のために中止となってはしましたが、自分たちの演奏が地域から認められ、期待されているという意識は、伝統芸能の演奏に限らず、地区の行事で快く役員を引き受けて手伝うなど、地域社会に貢献しようとする姿勢につながっていると考えられる。

今後は、4月から小泉中学校と統合するにあたり、両校で行っている地域伝統文化についての学習及び伝統芸能継承活動の良さを生かし、本校のESDの主軸として継続して取り組んでいき、伝統を守りながらより一層地域社会に貢献していこうとする意識を高めていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）